

パソコンでプログラミングできる昆虫型ロボット「ワンダーボーグ for PC」

第2回ネット販売開始（4月27日～）

Macintosh 対応ソフト無料ダウンロードサービスも開始

米国でも今夏より発売開始予定

株式会社バンダイ

（株）バンダイは昨年12月にインターネット上で販売予約受付を行ったパソコンでプログラミングすることができる完全自律型昆虫ロボット「ワンダーボーグ for PC」（Windows 対応 16,000 円 / 税別）を、4月27日より第2回目予約販売受付を行います。今回は1千個を専用ホームページ（URL <http://www.swan.channel.or.jp/borg>）で先着順に受付を行い、お申込みいただいたユーザーへの送付は6月中旬を予定しています。

このほかホームページに寄せられるユーザーの要望を受け、同日（4月27日）より Macintosh 対応のプログラミングソフトウェアの無料ダウンロードを専用ホームページ上で行います。同ソフトウェアは、新たな命令が加わりバージョンアップされたものです。

さらに、今夏より米国、ヨーロッパでの販売も予定、海外で年間10万個の販売を計画しています。

*Macintosh での使用には、別途シリアル変換ケーブルが必要です。

「ワンダーボーグ」シリーズについて

バンダイでは携帯ゲーム機ワンダースワンシリーズでプログラミングできる昆虫型ロボット「ワンダーボーグ」（12,000 円 / 税別）の第1回予約販売を昨年6月に開始、1千個を8時間で完売しました。その後第2回ネット販売（昨年8月～）に続き、昨年12月より店頭での販売とパソコン対応の「ワンダーボーグ for PC」を販売開始、これまでにシリーズ累計で3万個を販売しています。

ワンダーボーグは本格的な自律型のロボットでありながら、簡単にプログラミングすることができることからコンピュータ専門学校の教材として使用されるなど、高い評価をいただいています。今回の欧米での販売も、パソコンで簡単にプログラミングできるという操作性と教育要素が海外市場でも受け入れられると判断し実現したものです。

バンダイでは2002年3月末までに国内外でのワンダーボーグの累計販売数15万個を見込んでいます。

「ワンダーボーグ for PC」商品概要

パソコンと CD-ROM を使用して昆虫型ロボット(体長約 115 ミリ 体重 170 g / 電池含む)のプログラミングを行い、赤外線発信ユニットからプログラムをロボットに転送します。プログラム内容をもとにワンダーボーグは7つのセンサー(赤外線センサー・触角センサー・フロアセンサー・明るさセンサー・光フェロモンセンサー・体内時計センサー・オブションセンサー)により周囲の状況などを自律的に判断し行動、前後進・左右回転・ダンス・鳴く・仲間を呼ぶなど様々な動きをさせることができます。

<価格> 16,000円(税別)

<セット内容>

ワンダーボーグ本体・テストフィールド・脚用プラワイヤー・交換用脚パーツ・交換用タイヤパーツ・触角用プラワイヤー・交換用触角パーツ・交換用ギアパーツ・インターフェイス(赤外線発信ユニット)・専用インターフェイスケーブル・ロボットワークス CD・取扱説明書・アクセサリシール

<本体カラー> シルバー

対応機種 Windows Me / 98 / 95

<第2回予約販売受付について>

2001年4月27日(金) 12:00(正午)受付開始(1千個 先着順)

URL <http://www.swan.channel.or.jp/borg>

<ソフトウェアの無料ダウンロードについて>

2001年4月27日(金) 12:00(正午)開始

URL <http://www.swan.channel.or.jp/borg>

対応機種	100MHz 以上の PowerPC 漢字 Talk7.6.1 以降の MacOS 5 MB 以上の空きメモリ、20MB 以上の空きハードディスク
------	---

報道関係者からのお問い合わせ先

東京都台東区駒形 2 5 4
(株)バンダイ 広報チーム 田上、野澤
TEL : 03-3847-5005 FAX : 03-3847-5067